

◀2016年 北海道大学(前期)▶

♠ 理系学部

- 1** 複素数平面上の点 0 を中心とする半径 2 の円 C 上に点 z がある. a を実数の定数とし,

$$w = z^2 - 2az + 1$$

とおく.

- (1) $|w|^2$ を z の実部 x と a を用いて表せ.
 (2) 点 z が C 上を一周するとき, $|w|$ の最小値を a を用いて表せ.

- 2** $a > 0$ に対し, 関数 $f(x)$ が

$$f(x) = \int_{-a}^a \left\{ \frac{e^{-x}}{2a} + f(t) \sin t \right\} dt$$

をみたすとする.

- (1) $f(x)$ を求めよ.
 (2) $0 < a \leq 2\pi$ において,

$$g(a) = \int_{-a}^a f(t) \sin t dt$$

の最小値とそのときの a の値を求めよ.

- 3** 机のひきだし A に 3 枚のメダル, ひきだし B に 2 枚のメダルが入っている. ひきだし A の各メダルの色は金, 銀, 銅のどれかであり, ひきだし B の各メダルの色は金, 銀のどちらかである.

- (1) ひきだし A のメダルの色が 2 種類である確率を求めよ.
 (2) ひきだし A, B をあわせたメダルの色が 2 種類である確率を求めよ.
 (3) ひきだし A, B をあわせてちょうど 3 枚の金メダルが入っていることがわかっているとき, ひきだし A のメダルの色が 2 種類である確率を求めよ.

4

- (1) 次の方程式が異なる 3 つの 0 でない実数解をもつことを示せ.

$$x^3 + x^2 - 2x - 1 = 0 \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

- (2) 方程式 $\textcircled{1}$ の 3 つの実数解を s, t, u とし, 数列 $\{a_n\}$ を

$$a_n = \frac{s^{n-1}}{(s-t)(s-u)} + \frac{t^{n-1}}{(t-u)(t-s)} + \frac{u^{n-1}}{(u-s)(u-t)} \quad (n = 1, 2, 3, \dots\dots)$$

によって定める. このとき,

$$a_{n+3} + a_{n+2} - 2a_{n+1} - a_n = 0 \quad (n = 1, 2, 3, \dots\dots)$$

が成り立つことを示せ.

- (3) (2) の a_n がすべて整数であることを示せ.

- 5** 空間の 2 点 $A(0, 0, 2)$, $B(0, 1, 3)$ を通る直線を ℓ とし, 2 点 $C(1, 0, 0)$, $D(1, 0, 1)$ を通る直線を m とする. a を定数として, ℓ 上にも m 上にもない点 $P(s, t, a)$ を考える.

- (1) P から ℓ に下ろした垂線と ℓ の交点を Q とし, P から m に下ろした垂線と m の交点を R とする. Q, R の座標をそれぞれ s, t, a を用いて表せ.

- (2) P を中心とし, l と m がともに接するような球面が存在するための条件を s, t, a の関係式で表せ.
- (3) s, t と定数 a が (2) の条件をみたすとき, 平面上の点 (s, t) の軌跡が放物線であることを示し, その焦点と準線を a を用いて表せ.

♠ 文系学部

- 1** a, b, c を実数とし,

$$f(x) = x^3 + ax^2 + bx + c$$

とおく. 曲線 $C: y = f(x)$ 上に異なる 2 点 $P(s, f(s)), Q(t, f(t))$ がある.

- (1) P における C の接線の方程式を求めよ.
- (2) P における C の接線と Q における C の接線が平行になるための条件を s, t, a の関係式として求めよ.
- (3) (2) の条件のもとで, 線分 PQ の中点が C 上にあることを示せ.

- 2** $f(x) = |x(x-2)| + |(x-1)(x-4)| + 3x - 10$ ($-2 \leq x \leq 4$) とおく.

- (1) 関数 $y = f(x)$ のグラフをかけ. グラフと x 軸との 2 つの交点の x 座標 α, β ($\alpha < \beta$) の値も求めよ.
- (2) (1) の α, β に対して, 定積分 $\int_{\alpha}^{\beta} f(x) dx$ の値を求めよ.

- 3** $\triangle ABC$ が, $AB = 2, AC = 1 + \sqrt{3}, \angle ACB = 45^\circ$ をみたすとする.

- (1) $\beta = \angle ABC$ とおくととき, $\sin \beta$ および $\cos 2\beta$ の値を求めよ.
- (2) (1) の β の値をすべて求めよ.
- (3) $\triangle ABC$ の外接円の中心を O とする. $\triangle ABC$ が鋭角三角形であるとき, $\vec{OC} = s\vec{OA} + t\vec{OB}$ をみたす実数 s, t を求めよ.

- 4** x, y を自然数とする.

- (1) $\frac{3x}{x^2+2}$ が自然数であるような x をすべて求めよ.
- (2) $\frac{3x}{x^2+2} + \frac{1}{y}$ が自然数であるような組 (x, y) をすべて求めよ.

出題範囲と難易度**♣ 理系学部**

- 1 標準 III 複素数平面
- 2 標準 III 積分法
- 3 標準 A 確率
- 4 標準 II 微分積分・ B 数列
- 5 標準 B 空間図形・ III 2次曲線

♣ 文系学部

- 1 標準 II 微分積分
- 2 標準 II 微分積分
- 3 標準 I 図形と計量・ II 三角関数・ B ベクトル(平面)
- 4 標準 A 整数の性質

略解

◇ 理系学部

1 (1) $|w|^2 = 4x^2 - 20ax + 16a^2 + 9$

(2)
$$\begin{cases} a \leq -\frac{4}{5} \text{ のとき,} & |4a+5| \\ -\frac{4}{5} \leq a \leq \frac{4}{5} \text{ のとき,} & 3\sqrt{1-a^2} \\ a \geq \frac{4}{5} \text{ のとき,} & |4a-5| \end{cases}$$

2 (1) $f(x) = e^{-x} + \frac{e^a - e^{-a}}{2} \cos a - \frac{e^a + e^{-a}}{2} \sin a$

(2) 最小値: $\frac{e^{-\pi} - e^{\pi}}{2}$ ($a = \pi$)

3 (1) $\frac{2}{3}$

(2) $\frac{11}{27}$

(3) $\frac{18}{25}$

4 (1) 証明は省略

(2) 証明は省略

(3) 証明は省略

5 (1) $Q\left(0, \frac{t+a-2}{2}, \frac{t+a+2}{2}\right), R(1, 0, a)$

(2) $4s = t^2 + 2(a-2)t - (a-2)^2 + 2$

(3) 証明は省略.

焦点: $\left(\frac{-a^2+4a-1}{2}, 2-a\right)$, 準線: $s = \frac{-a^2+4a-5}{2}$

◇ 文系学部

1 (1) $y = (3s^2 + 2as + b)x - 2s^3 - as^2 + c$

(2) $3s + 3t + 2a = 0$

(3) 証明は省略

2 (1) グラフは右図. $\alpha = -1, \beta = \frac{7}{3}$

$$f(x) = \begin{cases} 2(x-1)^2 - 8 & (-2 \leq x \leq 0) \\ -6 & (0 \leq x \leq 1) \\ -2\left(x - \frac{5}{2}\right)^2 - \frac{3}{2} & (1 \leq x \leq 2) \\ 6x - 14 & (2 \leq x \leq 4) \end{cases}$$

(2) $-\frac{40}{3}$

3 (1) $\sin \beta = \frac{\sqrt{2} + \sqrt{6}}{4}, \cos 2\beta = -\frac{\sqrt{3}}{2}$

(2) $\beta = 75^\circ, 105^\circ$

(3) $s = -\frac{\sqrt{3}}{2}, t = -\frac{1}{2}$

4 (1) $x = 1, 2$

(2) $(x, y) = (1, 1), (2, 1), (4, 3)$

